

## 💡 子どもの気になること、ありませんか？ 💡

子育ての中で、次のような子どもの気になることはありませんか。もしかしたら、それは子どもからのサインかもしれません。

落ち着きがない



こだわりが強い



言葉の理解にとまどう



衝動的に行動してしまう



やることが分からなくなる



読み・書きをすることが大変



聞いた話の内容がつかめない



友だちとうまく関われない



雷や大きな音が苦手



極端な怖がり



食べこぼしが多い



予定が変わると混乱する



# 地域に広がり 思いやりの輪

エール子育て  
なすしおばら

あなたには、子どもの「気になること」や「困ったこと」がありますか。子どもにはさまざまな個性があり、みんな同じではありません。その中で、親が育てにくさを感じて悩んでいることも少なくありません。今回の特集では、子どもの「発達支援」について考えます。

### 子育て中の不安や悩み

子育てをしている人にとって、子どもの成長は大きな喜びとなりま。しかし、同時に子どものちょっとした様子が気になる、子育てに不安や悩みを感じている人もいます。中には、子どもに対して、育てにくさを感じている人もいます。

社会で生きていくためには、社会性(集団で生活する能力)や社交性(人とうまく付き合う能力)が必要ですが、「人とうまく話すことができない」「すぐにかんしゃくを起す」「相手の気持ちになって考えることができない」など、それを苦手としている子どももいます。そのような子どもの姿を目にしたとき、子どもの成長や子育てに不安を感じる人もいます。

日常生活の中で、子どもの姿に「気になること」や「困ったこと」があるとき、子どもの発達面に何らかの課題がある場合があります。その課題に対して、適切なサポートを受けられないことや自分に合わない環境にいて、自分で自己肯定的な考えや自信のなさが大きくなり、心に関する問題や社会で生活するときの困難が生じることもあります。

### 気付くことが最初の一步

子どもの発達面に何らかの課題がある場合、園や小学校などの集団生活が始まると、さまざまな困りごとに直面することがあります。子どもの困りごとを軽減するには、周囲の大人ができるだけ早く気づき、適切に本人をサポートしていくことが大切です。適切なサポートを受け、その子に合った環境を整えることで、困りごとが軽減され、「らしさ」や「能力」を伸ばすことができます。

市では、保健センターや子ども・子育て総合センターで、子どもの成長の困りごとについての気づきや相談の支援に取り組んでいます。また、医療や福祉・保育・教育・就労などと連携し、切れ目のない支援に取り組む「発達支援システム」という仕組みも導入しています。

誰でも子育てをする中で、子どもの成長に不安を抱くことはあります。子どもとの何気ない生活や遊びを楽しむながらも、子どもの特性を理解し、子どもが発信するサインに気づける目と心を持つことが、保護者が不安を軽減する一歩、そして、子どもが成長する一歩につながるのではないのでしょうか。